

# 台東区の課題と取り組み

ここでは、台東区の課題と取り組みについて、平成23年度から24年度にかけての主な状況を取り上げます。なお、以下の3つの分野は、基本構想（[1](#)ページ）の3つの将来像に基づいています。

## 産業・観光・文化の分野では

- 長引く景気の低迷、さらに昨年の東日本大震災による影響で、区内産業を取り巻く状況は厳しいものになっています。区内中小企業の経営力強化のため、また、区民の皆さんの生活基盤としての就業を確保するために、融資制度や雇用・就業相談を実施しています。
- 台東区には年間約4,000万人の観光客が訪れます。平成24年4月にリニューアルオープンした浅草文化観光センターでは、おもてなしの心を持って、国内外から訪れる方々の多様なニーズに対応し、区のさまざまな魅力を紹介しています。
- 昔の台東区内の風景や年中行事などを収めた映像や写真といった貴重な財産を後世に伝えていくために、昔の映像や写真の収集・保存に努め、広く公開しています。

## まちづくり・環境・生涯学習の分野では

- 台東区の生活様式や文化と調和し、地域への愛着や誇りにつながるまちなみを目指して、地域の魅力や活気を高める景観まちづくりを進めています。
- 震災時に、市街地火災の延焼を防ぎ、安全に避難できるように、対象区域を指定して木造建築物から耐火建築物への建替えを促進しています。  
また、東日本大震災の経験を踏まえ、実際の災害発生時に活かせるような防災訓練を実施しています。
- 地球温暖化やヒートアイランド現象対策など、区の緑を取り巻く状況が変化する中で、「まちを彩る緑がつながり、ひろがる したまち台東」の達成に向けて、効果的な緑化を推進していきます。
- 郷土に誇りと愛情を持ってもらうため、台東区の歴史や伝統、文化について「台東区歴史・文化テキスト」を作成し、歴史・文化検定を実施しています。

## 福祉・健康・子育て・教育の分野では

- 特定不妊治療を受ける方の経済的負担を軽減するため、治療費の一部助成を行い、親と子の健康づくりを推進しています。
- 住み慣れた地域で、高齢者や障害者やその家族が安心して生活を送れるように、相談窓口や支援システムを充実させて、その生活をサポートしています。
- 子どもにかかわる関係機関が協力し、要保護児童への確な支援をしていくためのネットワークを組織して、虐待の未然防止に取り組んでいます。
- 保護者の子育て支援のさらなる充実や小学校教育との円滑な接続を図るため、台東区独自の幼児教育共通カリキュラムによる取り組みを実施しています。